

第2分科会 第2分科会 教育課程Ⅱ

【研究課題】 人間力向上を図る教育課程の編成

【研究の視点①】 確かな学力を育成する教育課程の編成

〈研究発表〉 2学期制のもとで明日を担う鳥取市の子どもを育てる

—— 確かな学びと豊かな人間性を育む教育課程の編成と校長の役割 ——

鳥取県鳥取市立用瀬小学校 浅井 知寿子

〈発表概要〉

21世紀を切り拓く子どもたちの人づくりの基盤となる確かな学力を育成するためには、相互に関連しあつた総合的な学力の向上を図ることが重要であり、バランスのとれた教育課程を編成することが求められている。

鳥取市は平成16年11月に合併し、同時に完全導入された2学期制を契機にして、自立し、創造的な学校づくりを推進する中で、確かな学力の育成を図り、明日を担う鳥取市の子ども「生きる力」を育ててきた。新学習指導要領の方向が示された今、合併後の取組を検証することにより、成果と課題を明確にして更なる充実に向かいたいと考え、次の4つの研究の視点にかかわるアンケート調査の集約・分析、及び具体的な取組の情報交換をして研究を深めた。

- ① 2学期制を生かした教育課程の編成の工夫の実際を検証する。
- ② 学校のビジョンを明確にし、自立し、創造的な学校づくりを図るための教育課程の実際を明らかにする。
- ③ 自校や中学校区の課題を捉え、いかに工夫して学力の向上に結びつけているかを明らかにする。
- ④ 創意ある教育課程を編成して行く上での校長の役割や指導性を追求する。